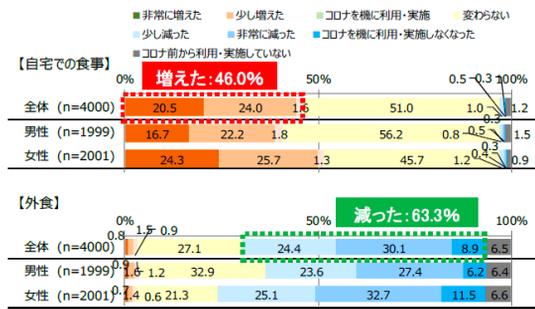




2021年1月28日

■コロナ禍では、外出と外食を控えているため、自宅での食事が増えて外食が減った

図表1 「新型コロナウイルス感染拡大前（2月以前）と比べて、利用や実施に変化はありましたか」についての回答（「自宅での食事」「外食」）



図表2 自宅での食事をする回数が増えた理由はなんですか？ についての回答（性別別、複数回答）

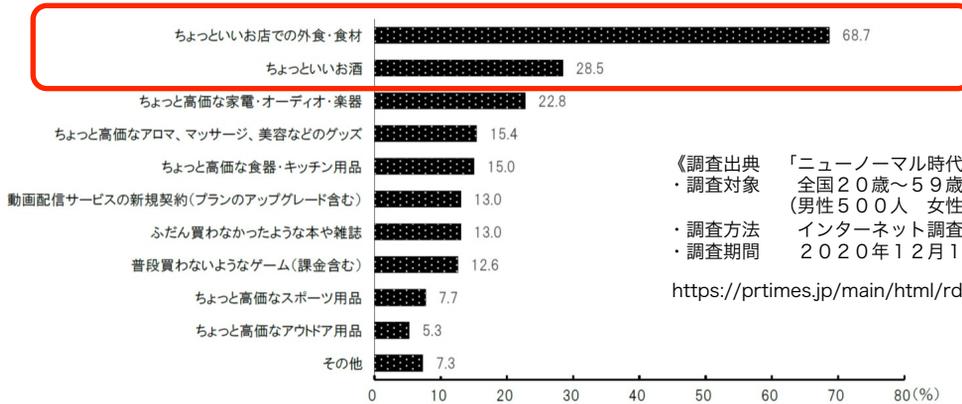
	外出を控えているため	外出を控えているため	家にいる勤務や通学が減少したため	休業・閉店したため	利用していた店が消費するのをためらったため	自宅にストックしているため
全体 (n=1841)	72.1	59.8	25.1	22.2	9.8	6.4
性別						
男性 (n=813)	71.6	55.7	27.4	18.1	10.6	3.8
女性 (n=1028)	72.5	62.9	23.3	25.4	9.2	8.4
年代別						
20代 (n=139)	64.7	51.1	33.1	28.8	9.4	5.0
30代 (n=282)	72.0	59.6	26.6	28.0	10.6	5.0
40代 (n=495)	73.9	59.4	26.5	24.6	11.7	6.3
50代 (n=468)	68.6	53.8	30.3	18.4	9.6	6.0
60代 (n=296)	74.0	66.9	20.9	20.6	7.1	7.4
70代以上 (n=161)	79.5	72.7	4.3	12.4	8.7	9.3

- ・調査機関：株式会社プラネットによる調査企画をもとに、株式会社ネオマーケティングにて「食生活と秋の味覚」に関する意識調査を実施。
- ・調査期間：2020年9月14日～17日、インターネットで4,000人から回答を得ています。

https://www.planet-van.co.jp/shiru/from_planet/vol143.html

■コロナ禍で増えた「メリハリ消費」は、「ちょっといい食材・ちょっといいお酒」

(図9) 生活におけるオン・オフのメリハリをつけるために、購入・利用が増えたもの (MA/n=246)



《調査典拠》「ニューノーマル時代のメリハリ生活の実態調査」より
 ・調査対象 全国20歳～59歳の男女1,000人 (男性500人 女性500人)
 ・調査方法 インターネット調査
 ・調査期間 2020年12月10日(木)～12月14日(月)

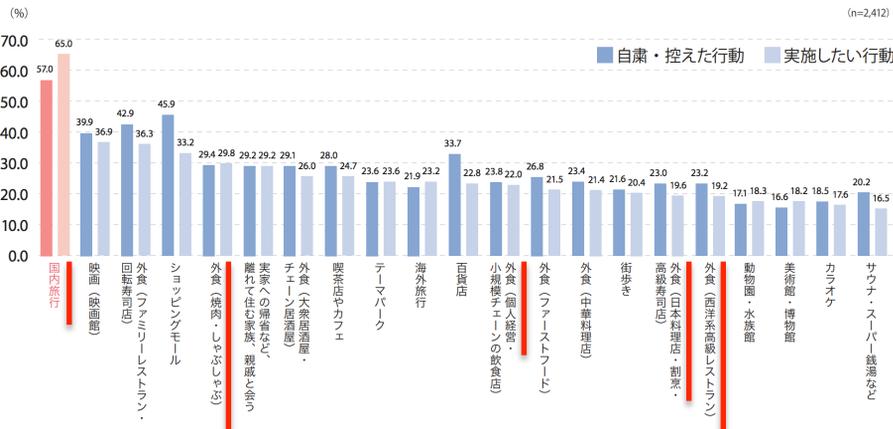
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000025.000017820.html>

■コロナ禍で控えた&収束後に実施したい行動は、「国内旅行」「外食」

収束後実施したい行動は「国内旅行」がトップ

『Withコロナ時代における生活者の意識調査』
 ・調査対象者：全国の18歳～70代男女計2,412名
 ・調査期間：2020.5.28～6.3

<https://www.cccmk.co.jp/thinktanks/column-1>

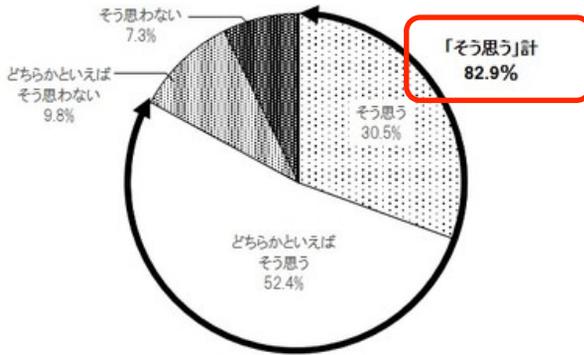




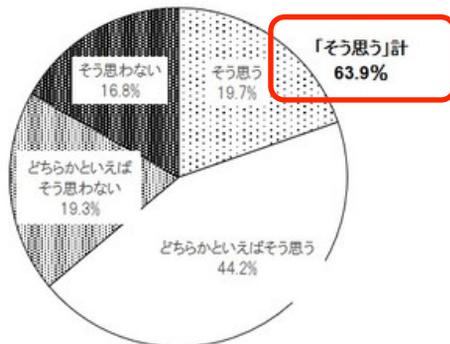
2021年1月28日

■コロナ禍では、生活にメリハリをつけるため「ちょっと贅沢なものを購入する機会」増

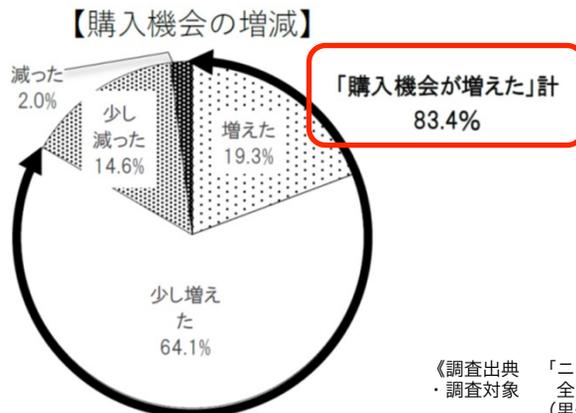
(図5) 2021年は、これまでよりメリハリをつけた生活を意識して、豊かな時間を過ごしたいと思うか (SA/n=1,000)



(図6) 今後、日常の中で『ハレ時間』を作り出すためにちょっといいモノやちょっとした工夫を生活に取り入れていきたいと思うか (SA/n=1,000)



(図8) 生活にメリハリをつけるために、ちょっと贅沢な商品やサービスの購入・利用が増えた人 (SA/n=295)



《調査出典 「ニューノーマル時代のメリハリ生活の実態調査」より》
・調査対象 全国20歳～59歳の男女1,000人 (男性500人 女性500人)
・調査方法 インターネット調査
・調査期間 2020年12月10日(木)～12月14日(月)